

マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社 2020年3月期第2四半期 決算説明会資料（プレゼン編）

2019年10月28日

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

第一部

- I 2020年3月期上期実績（連結）
- II 2020年3月期予想（連結）
- III 株主還元

第二部

- I 中期経営計画（2019～2021年度）

第一部

I 2020年3月期上期実績（連結）

II 2020年3月期予想（連結）

III 株主還元

第二部

I 中期経営計画（2019～2021年度）

3

I 2020年3月期上期実績

連結業績ハイライト（前年同期比）

（単位：億円）	2018年度 上期実績	2019年度 上期実績	差異	前年同期比	増減要因
売上高	2,617	2,544	▲73	▲2.8%	セキュリティ関連商品が伸長したものの、産業機器を中心に生産調整が継続
売上総利益	305	295	▲10	▲3.5%	売上減少により
営業利益	85	67	▲18	▲21.4%	売上及び売上総利益の減少により
経常利益	75	48	▲27	▲35.6%	金融コストの増加、持分法による投資損失の計上
親会社株主に帰属する四半期純利益	50	30	▲20	▲40.5%	

4

I 2020年3月期上期実績

連結業績ハイライト（予想比）

（単位：億円）	2019年度 上期修正予想 (7/29発表)	2019年度 上期実績	差異	修正予想比
売上高	2,470	2,544	74	3.0%
売上総利益	285	295	10	3.5%
営業利益	57	67	10	17.9%
経常利益	41	48	7	17.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	23	30	7	29.5%

I 2020年3月期上期実績

連結貸借対照表

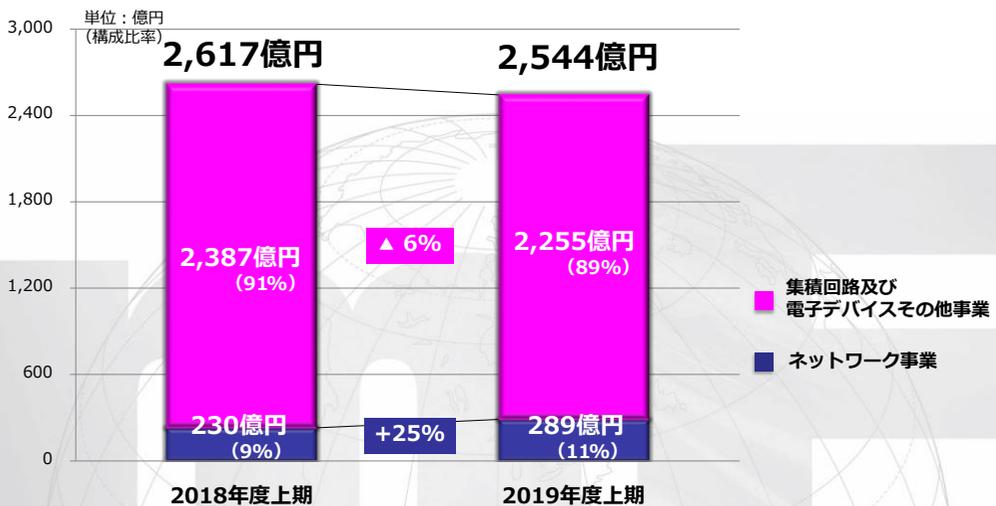
（単位：億円）	2019年 3月末	2019年 9月末	主な要因
流動資産	2,769	2,435	売上債権11億円、商品185億円、その他流動資産139億円が減少
固定資産	224	273	関係会社株式取得等により投資有価証券48億円増加
資産合計	2,993	2,708	
流動負債	1,495	1,215	仕入債務80億円、短期借入金164億円が減少
固定負債	143	138	役員退職慰労金制度の廃止に伴い、引当金が6億円減少
負債合計	1,639	1,354	
純資産合計	1,354	1,354	為替換算調整勘定が17億円減少したものの、利益剰余金14億円増加、譲渡制限付株式報酬として新株を発行したことにより資本金及び資本剰余金がそれぞれ2億円増加
負債純資産合計	2,993	2,708	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)	2018年度 上期	2019年度 上期	主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	▲345	240	仕入債務の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益48億円の増加、たな卸資産の減少及びその他の資産の減少
投資活動による キャッシュ・フロー	▲15	▲65	関係会社株式の取得による支出
財務活動による キャッシュ・フロー	212	▲168	短期借入金の純減及び配当金の支払
現金及び現金同等物 の期末残高	143	142	前連結会計年度末の140億円に比べ2億円増加

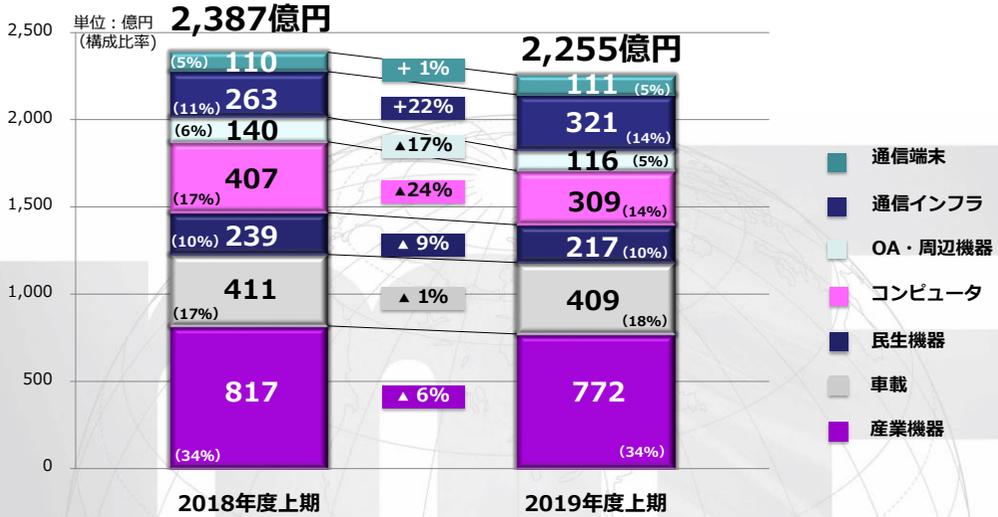
セグメント別：連結売上高

2,544億円 前年同期比▲2.8%



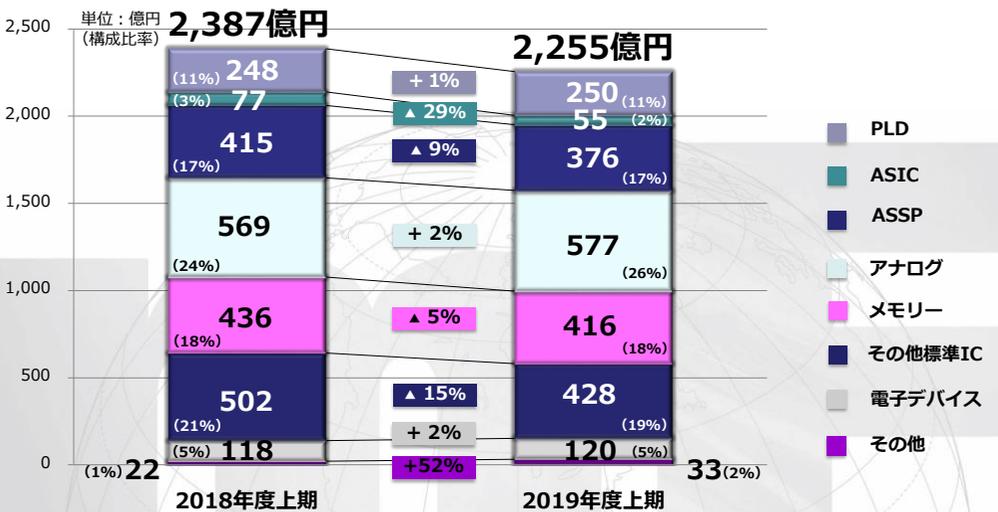
集積回路及び電子デバイスその他事業（用途別）

2,255億円 前年同期比▲5.5%



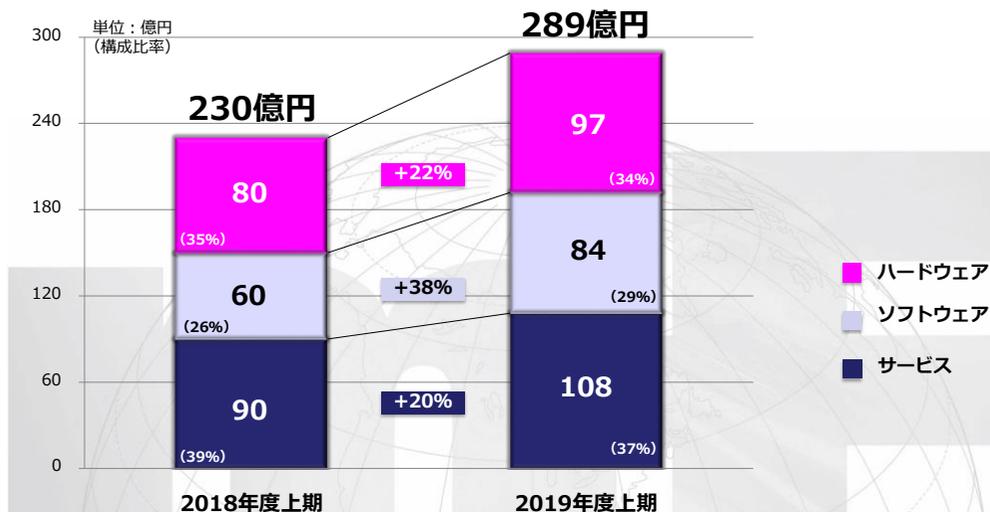
集積回路及び電子デバイスその他事業（品目別）

2,255億円 前年同期比▲5.5%



ネットワーク事業（品目別）

289億円 前年同期比+25.3%



第一部

I 2020年3月期上期実績（連結）

II 2020年3月期予想（連結）

III 株主還元

第二部

I 中期経営計画（2019～2021年度）

連結予想ハイライト

(単位: 億円)	2018年度 実績	2019年度			前年比
		上期実績	下期予想	通期予想	
売上高	5,242	2,544	2,556	5,100	▲2.7%
集積回路及び電子デバイス その他事業	4,703	2,255	2,269	4,524	▲3.8%
ネットワーク事業	539	289	287	576	6.9%
売上総利益	611	295	299	594	▲2.8%
営業利益	153	67	66	133	▲13.5%
経常利益	131	48	57	105	▲19.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	89	30	34	64	▲28.0%

集積回路及び電子デバイスその他事業

米中貿易摩擦の激化など先行き不透明な状況が続く

- 車載は、新規ビジネスの立ち上がり等、引き続き堅調に推移する見込み
- 産業機器は、設備投資抑制や在庫調整が続き、回復が遅れる見通し



ネットワーク事業



セキュリティ関連が引き続き牽引

- 高度化したサイバー攻撃への対策やGDPR等の法規制を始めとしたコンプライアンス対応等のセキュリティ関連商品が引き続き牽引する見込み
- モバイル、クラウド関連やデジタルトランスフォーメーション関連商品が伸長する見通し



第一部

I 2020年3月期上期実績 (連結)

II 2020年3月期予想 (連結)

III 株主還元

第二部

I 中期経営計画 (2019~2021年度)

配当について

● 配当方針

将来の事業展開と経営体質の一層の充実・強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対し極力利益を還元すること、諸般の情勢を勘案しつつも安定した配当の継続に努めることといたします。毎事業年度における配当の回数についての基本的な方針は、中間配当並びに期末配当の年2回を原則とします。

● 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	25.00	25.00	50.00
2020年3月期	25.00		
2020年3月期（予想）		25.00	50.00

第一部

I 2020年3月期上期実績（連結）

II 2020年3月期予想（連結）

III 株主還元

第二部

I 中期経営計画（2019～2021年度）

中期経営計画（2019～2021年度）の概要

1. 成長戦略

①半導体事業

- グローバルポジションの確立
- 半導体を応用した付加価値ソリューション

②ネットワーク事業

- セキュリティ
- デジタルソリューション
- グローバル

2. 新規付加価値事業戦略

- macnica.ai
- IoTソリューション
- 自動運転ソリューション
- サービスロボット

3. さらなる業務効率及び資産効率の改善と経営システム基盤への投資

4. 財務・資本施策

売上高 6,500億円以上 当期純利益 130億円以上 ROE 9.0%以上 営業キャッシュフロー (3年間累積) 100億円以上

1 成長戦略：①半導体事業

■ グローバルポジションの確立



1 成長戦略：①半導体事業

■ 半導体を応用した付加価値ソリューション

- 事例：株式会社レボーン様 「香りをAI処理し見える化」する技術



医療
(例:口臭から疫病検知)



食品・製造業
(例:発酵度・品質管理)



畜産
(例:健康・肉質管理)

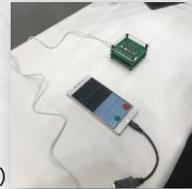
- 「電気設計部門」を持たない異業種・新興企業のお客様にとっても半導体を活かした「オリジナルのものづくり・自社製品化」が実現可能



【Before】
アイデアからの
原理試作



【After】
コンパクト化
最適な量産パートナー提案
(自社製品化の実現性向上)



1 成長戦略：②ネットワーク事業

■ 事業展開

- セキュリティ：セキュリティ市場での圧倒的に優位なポジションの確立
- デジタルソリューション：ビッグデータ分析基盤、
AIをはじめとするDXソリューションの立ち上げ
- グローバル化：アジアにおけるセキュリティビジネスの成長

グローバル展開

新規

アジア

国内



既存ビジネスモデル

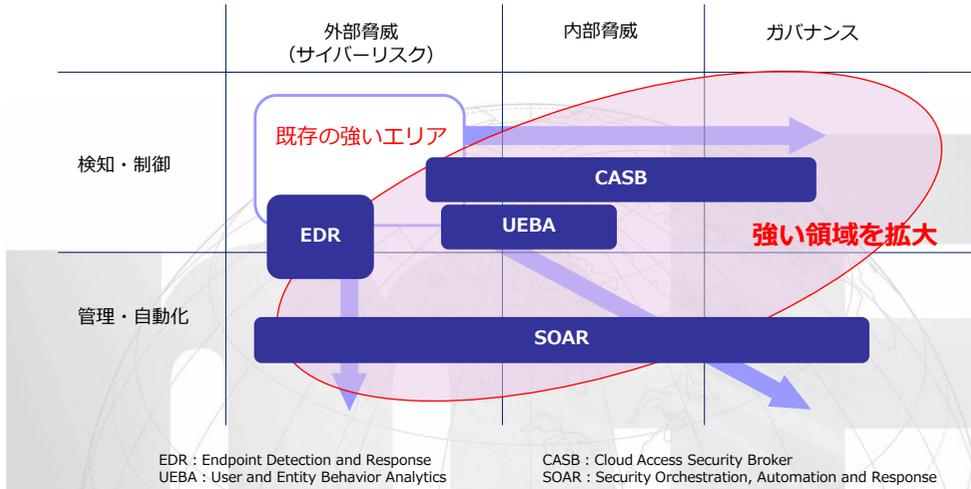
新規ビジネスモデル

顧客・商品・ビジネスの広がり

1 成長戦略：②ネットワーク事業

■ セキュリティ

セキュリティ市場での圧倒的に優位なポジションの確立



1 成長戦略：②ネットワーク事業

■ セキュリティ

セキュリティ市場での圧倒的に優位なポジションの確立

IoTセキュリティへの取り組み

2018年
 IoT機器：2,300万台
 攻撃されたIoT機器：280万台
 マルウェアの種類：12万種類

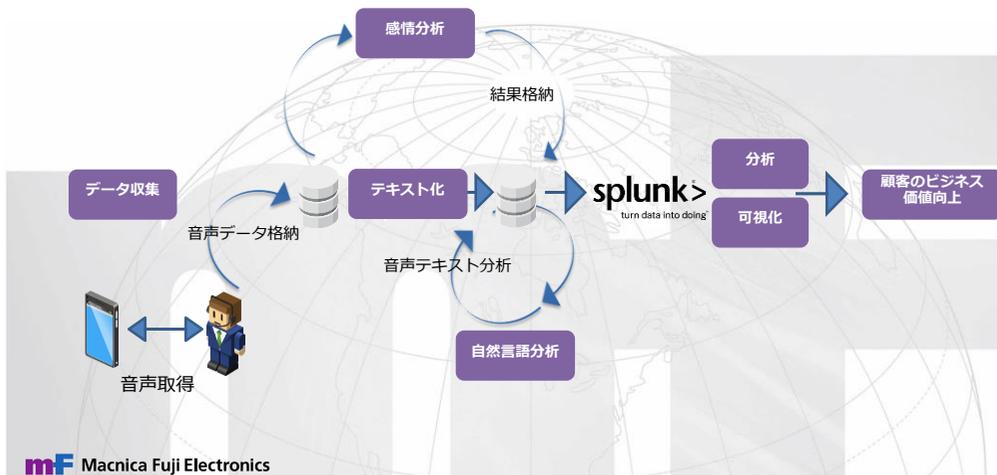


1 成長戦略：②ネットワーク事業

■ デジタルソリューション

ビッグデータ分析基盤、AIをはじめとするDXソリューションの立ち上げ

例：次世代コンタクトセンター

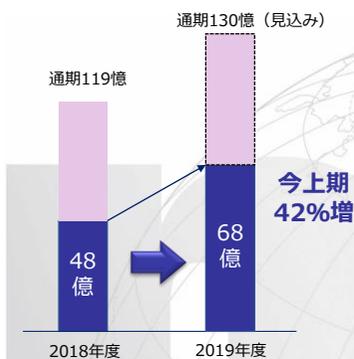


1 成長戦略：②ネットワーク事業

■ グローバル

アジアにおけるセキュリティビジネスの成長

Netpoleon社売上実績



拠点をASEANから
インド、オーストラリアにも拡大

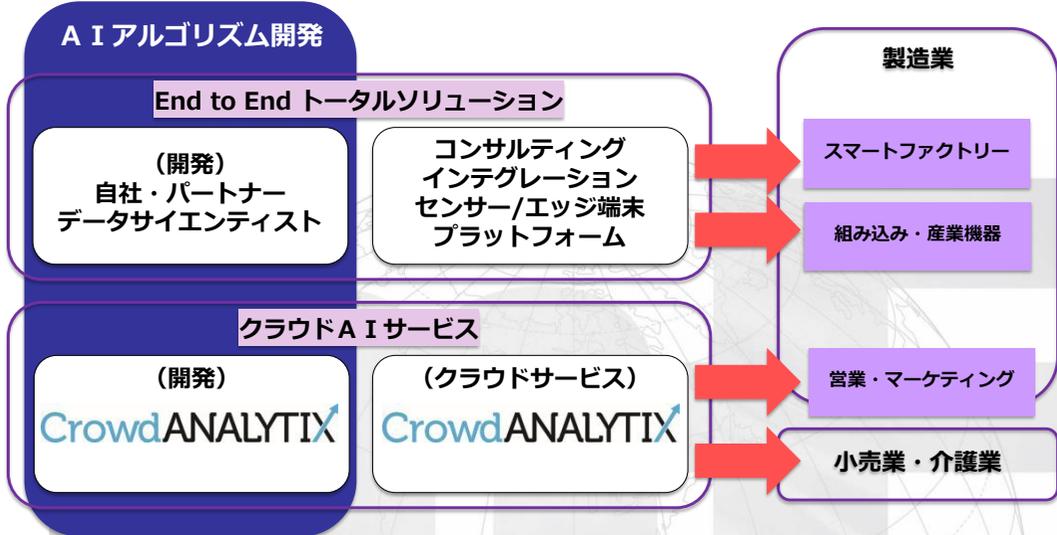
シンガポール教育省より
Skills Future Employer Awardsを受賞

アジアにおけるセキュリティ技術の啓蒙を目的に
Netpoleon Solution Dayをアジアにて開催
(インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム)



2 新規付加価値事業戦略

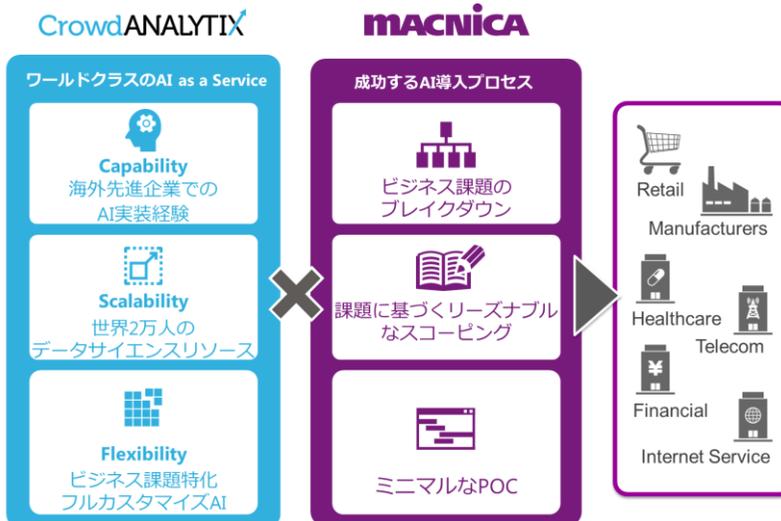
■ AI



2 新規付加価値事業戦略

■ macnica.ai

CrowdANALYTIX事業の戦略



2 新規付加価値事業戦略

■ macnica.ai

● プロジェクト事例1

TRIAL 株式会社トライアルカンパニー様

AIが最適なディスカウント価格を提示



バナナ



卵



ティッシュ



キャノーラ油



チョコレート

2 新規付加価値事業戦略

■ macnica.ai

● プロジェクト事例2

株式会社ユニマット リタイアメント・コミュニティ様

持物検査アプリ

- ・ 正確かつ迅速
- ・ 誰でも使える簡単



Tシャツ



空室予約アプリ

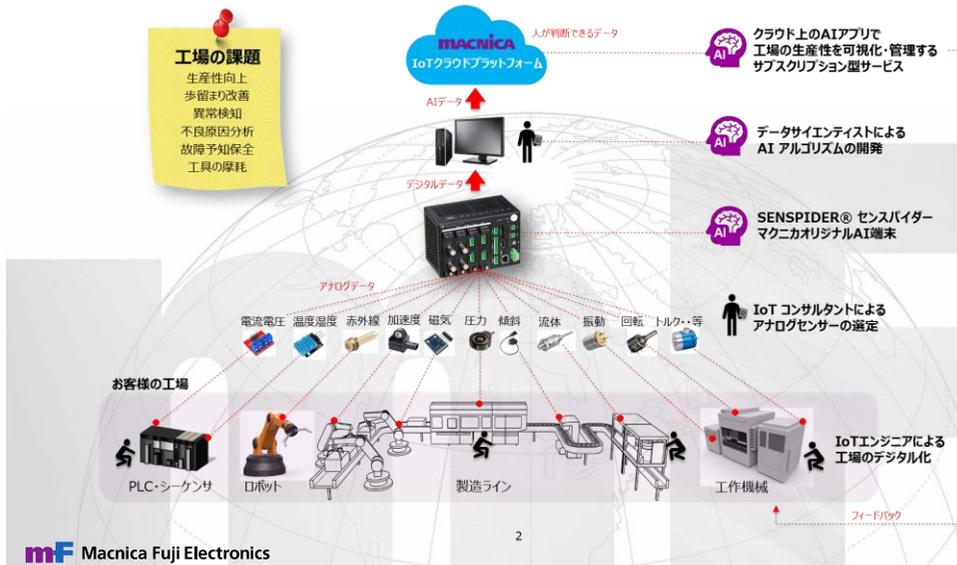
- ・ 利用者に合う部屋選び
- ・ 稼働率アップ



2 新規付加価値事業戦略

■ IoTソリューション

スマートファクトリー化に向けた AI x IoTソリューション



2 新規付加価値事業戦略

■ 自動運転ソリューション

自動運転市場に参入しようとするメーカー、自治体、閉域道路、サービス事業者などに対し実証車両の販売とインテグレーション、環境データ販売を行います。



2 新規付加価値事業戦略

■ 自動運転ソリューション

● Kudan社との業務提携

自動運転に必要な超高精度の地図データや、歩行者・地物などの自動検出を可能にするAI統合型のモビリティソリューションを共同開発します。

人工知覚（Artificial Perception）

自動運転車輛、センサーインテグレーション



2 新規付加価値事業戦略

■ サービスロボット

● プロジェクト事例

相鉄企業株式会社様

新宿ワシントンホテル本館様

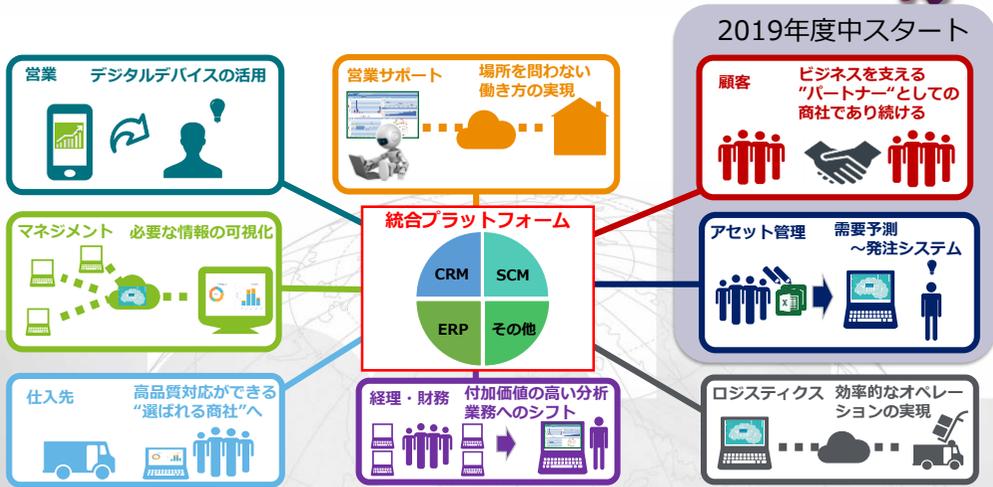


自動掃除ロボット
Neo



デリバリーサービスロボット
Relay

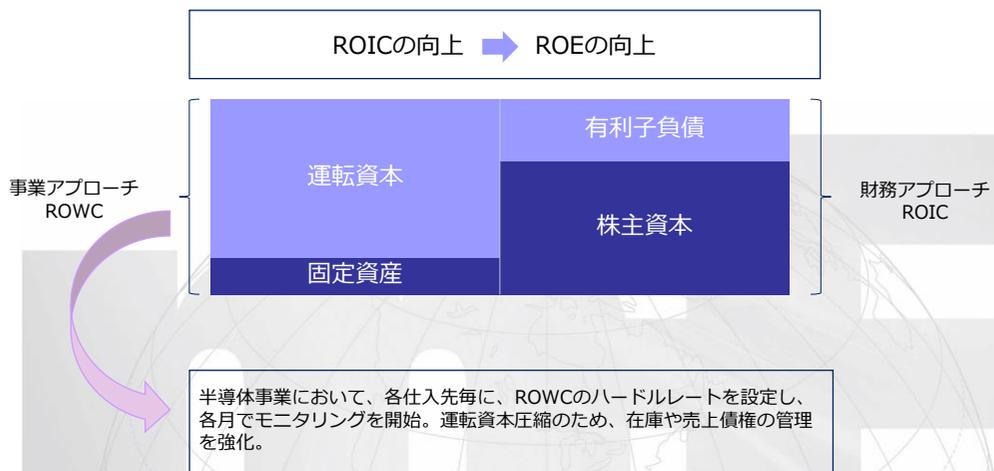
3 さらなる業務効率及び資産効率の改善と経営システム基盤への投資



4 財務・資本施策

■ 営業キャッシュフローの創出

資本コストを意識した経営／ROEの向上



経営数値目標



	2021年度目標
連結売上高	6,500億円以上
連結当期純利益	130億円以上
連結ROE	9.0%以上
営業キャッシュフロー	3年間累積100億円以上

